

新興国連続増配成長株オープンの運用状況

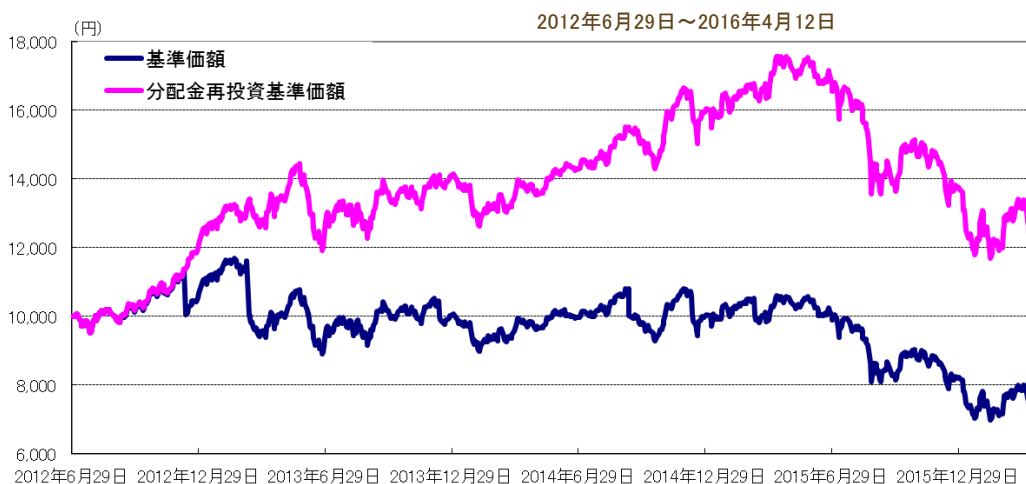
新興国連続増配成長株オープン
追加型投信／海外／株式

2016年4月14日

新興国連続増配成長株オープンの運用状況

当ファンドでは、新興国経済に対する過度な不安が後退したと判断したことから組入比率を90%前後で維持しました。2016年4月12日現在の基準価額は7,612円となっています。

設定来の基準価額の推移



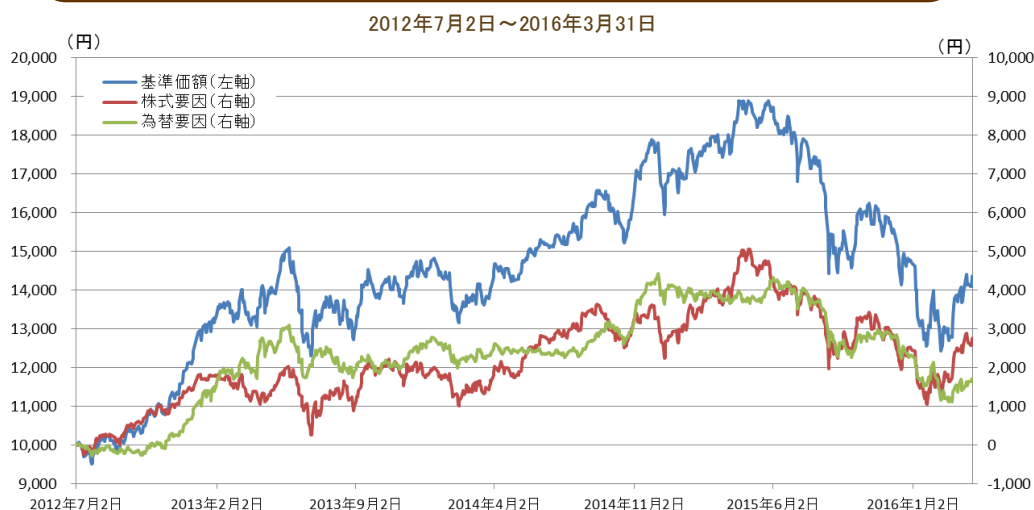
決算期	分配金(円)
第15期(2016年3月10日)	0
第14期(2015年12月10日)	0
第13期(2015年9月10日)	0
第12期(2015年6月10日)	100
第11期(2015年3月10日)	400
第10期(2014年12月10日)	350
第9期(2014年9月10日)	750
第8期(2014年6月10日)	200
第7期(2014年3月10日)	0
第6期(2013年12月10日)	500
第5期(2013年9月10日)	0
第4期(2013年6月10日)	0
第3期(2013年3月11日)	1,800
第2期(2012年12月10日)	1,300
第1期(2012年9月10日)	50
設定来累計	5,450

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。運用状況等によっては分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。当ファンドの実質的な信託報酬は、投資対象ファンドの信託報酬を間接的にご負担いただくこととなりますので、作成基準日現在、純資産総額に年1.782%(税抜1.65%)程度の率を乗じて得た額となります。

※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。※分配金は1万口当たり、税引前です。

実質投資対象ファンドの基準価額とその変動要因(累積)



(出所) ラッセル・インベストメントデータより岡三アセットマネジメント作成

※上記は当ファンドが投資対象とする新興国連続増配成長株ファンド(適格機関投資家限定)が投資するラッセル新興国増配継続株マザーファンドの基準価額と変動要因です。
※基準価額の変動要因はその傾向を把握するために簡便法により算出した概算値であり、実際の基準価額の変動要因を正確に説明するものではありません。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「新興国連続増配成長株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点でのラッセル・インベストメント株式会社が提供を受けたものであり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

新興国連続増配成長株オープン
追加型投信／海外／株式

実質投資対象ファンドの基準価額変動要因の国・地域別内訳と投資比率

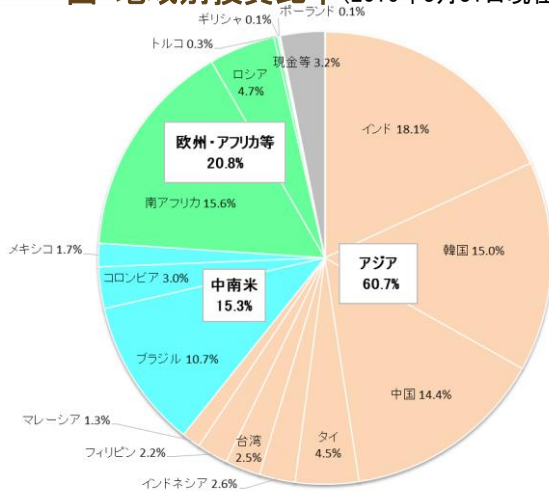
実質投資対象ファンド：ラッセル新興国増配継続株マザーファンド

基準価額変動要因

(期間：2012年7月2日～2016年3月31日) 単位：円

	株式要因	為替要因	合計
中国	927	1,071	1,998
インドネシア	200	70	270
韓国	-154	112	-42
台湾	181	134	315
インド	272	47	319
マレーシア	22	56	78
フィリピン	12	16	28
タイ	124	54	177
メキシコ	45	251	297
コロンビア	23	-12	11
ブラジル	106	-180	-74
ペルー	30	48	78
チリ	-8	10	2
南アフリカ	868	-328	540
ロシア	112	336	447
モロッコ	-3	25	22
トルコ	22	4	27
ポーランド	-6	11	5
ギリシャ	-12	8	-5
その他	-	-	-114
合計	2,759	1,733	4,378

国・地域別投資比率 (2016年3月31日現在)



(出所)ラッセル・インベストメントデータより岡三アセットマネジメント作成

(注) 国・地域別の為替要因：各国・地域の現地通貨建て株式に投資しているとは限りません。例えば、中国は米ドル建ておよび香港ドル建て、ロシアは米ドル建ての株式に投資しています。

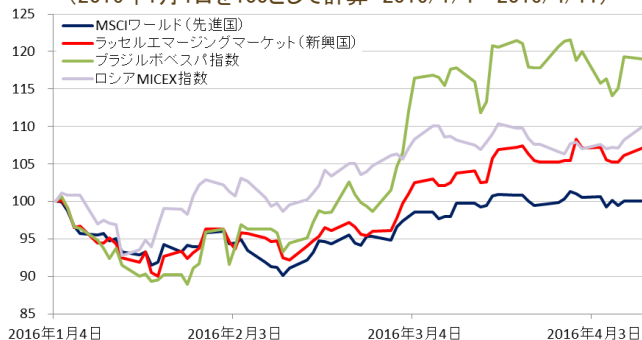
・国・地域は「ラッセル新興国株インデックス」の分類で区分しています。
・ラッセル新興国増配継続株マザーファンドの純資産総額に対する比率です。
・各データは四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

※上記は当ファンドが投資対象とする新興国連続増配成長株ファンド(適格機関投資家限定)が投資するラッセル新興国増配継続株マザーファンドの基準価額変動要因の国・地域別内訳と投資比率(純資産総額に対する比率)です。
※基準価額の変動要因はその傾向を把握するために簡便法により算出した概算値であり、実際の基準価額の変動要因を正確に説明するものではありません。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

新興国連続増配成長株の投資環境

先進国と新興国株式市場の年初来の推移

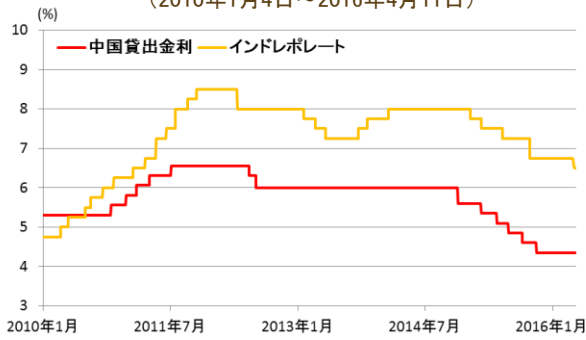
(2016年1月4日を100として計算 2016/1/4～2016/4/11)



(出所)Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

中国とインドの政策金利推移

(2010年1月4日～2016年4月11日)



(出所)Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

足元の新興国株式市場は、原油などの商品価格が持ち直していることに加え、米国の利上げペースが緩やかになるとの観測などから、資源国であるロシアやブラジルなどが牽引して反発基調が続いています。なかでもブラジルでは、ルセフ大統領に対する弾劾投票が予定されており、退任の可能性が高まっていることから、新政権に対する経済の立て直しなどの期待などが今後の株式市場を下支えする要因になると思われます。またインドでは、インド準備銀行が4月上旬に政策金利を6.75%から6.5%へ引き下げ、今後も緩和的な金融政策を継続する姿勢を示したことから、投資家心理の改善が期待されます。中国経済についても持ち直しの兆しが出始めていることなどから、新興国株式市場は堅調に推移すると思われます。

(作成：グローバル・エクイティ運用部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「新興国連続増配成長株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点でのラッセル・インベストメント株式会社が提供を受けたものであり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**新興国連続増配成長株オープン
追加型投信／海外／株式**
新興国連続増配成長株オープンに関する留意事項
【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、新興国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見込まれる場合も同様です。
 - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入、換金申込の受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けした購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.78%（税抜3.5%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.3%

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.134%（税抜1.05%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
：純資産総額×年率1.782%（税抜1.65%）程度
※実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率 0.01296%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
藍澤證券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	中国財務局長(金商)第20号	○			
廣田証券株式会社	近畿財務局長(金商)第33号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
(登録金融機関)					
株式会社佐賀銀行	福岡財務支局長(登金)第1号	○		○	

＜本資料に関するお問合わせ先＞

カスタマーサービス部 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)